目　次

第１章　計画の策定にあたって

１　計画策定の趣旨と目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２　計画の位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３　計画の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第２章　計画の基本的な考え方

１　基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
２　計画の目指す姿と基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
３　施策の体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第３章　施策の展開「元気ッス！運動の推進」

１　「す る」元気ッス！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
２　「観 る」元気ッス！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
３　「学 ぶ」元気ッス！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
４　「極める」元気ッス！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
５　「支える」元気ッス！（ものひとで支える、ひとで支える） ・・・・・・・・・20

第４章　計画の推進にあたって

１　数値目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
２　推進体制と進捗管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

資料編

各種数値的資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
アンケート結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
策定の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
策定委員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

第1章　計画の策定にあたって

1　計画策定の趣旨と目的

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進むなど、国内を取り巻く社会環境や価値観が急激に変化している中、スポーツへの期待はますます高まってきています。

国では、社会の現状や環境の変化を踏まえ、スポーツ界における新たな課題に対応するため、スポーツ振興法が 50 年ぶりに全面改定され、新たにスポーツ基本法が、平成 23 年８月に施行されました。

このスポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとするとともに、スポーツが、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、我が国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担っていること、さらに、今後のスポーツの振興に当たっては、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすというスポーツの内在的な価値があることがうたわれています。

愛知県では、平成 25 年に国のスポーツ基本計画を受け、「いきいきあいち　スポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」を策定し、今後 10 年間を見据え、４つの基本施策「学校と地域における子どものスポーツ機会の充実」「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」「住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備」「競技力の向上を目指す取組の推進」を推進しています。

本市においては、平成 17 年３月に「碧南市スポーツ振興計画」を策定し、市民のスポーツを通じた健康な心身づくりと明るく活力に満ちた社会の形成を目指し、地域における生涯スポーツの充実、学校体育・スポーツの充実、スポーツを支援する環境の整備・充実に向けて取り組んできました。

こうした経過を踏まえ、国の基本計画や愛知県の計画を参照するとともに、本市のアンケート調査結果等より把握する市民のスポーツ活動の状況と、社会状況の変化や地域特性からみられる新たな課題に対応するため、平成 27 年度から 10 年計画となる「碧南市スポーツ推進計画」を策定しました。

２　計画の位置づけ

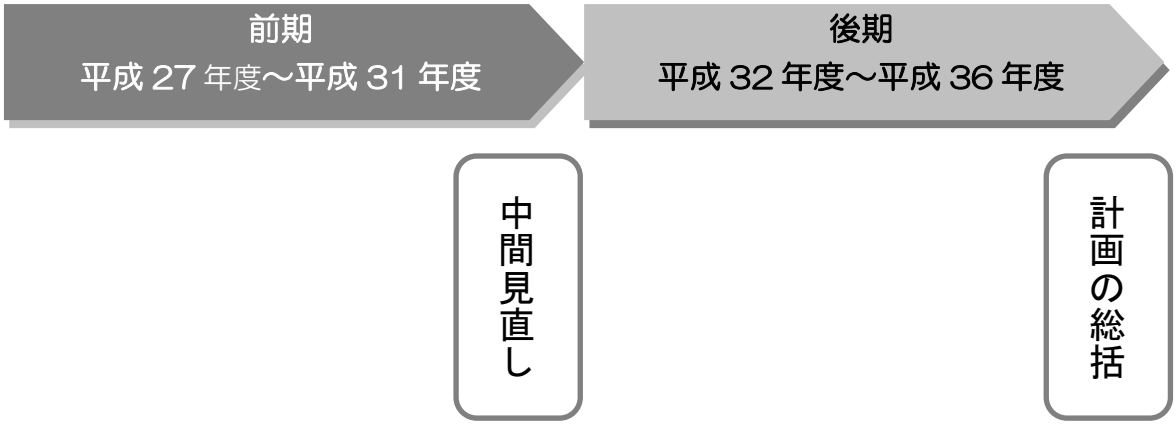
本計画は、国の「スポーツ基本計画」や愛知県の「愛知県スポーツ推進計画」を尊重しつつ、上位計画である第５次碧南市総合計画と整合を図るとともに、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。

そして、高齢者・障害者福祉や学校教育、生涯学習、健康づくり、子ども支援等の関連部署と一体となって検討するなど連携を密にし、市民や関係団体等が共通認識を持ち、地域社会全体で生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組むための指針となるものです。

3　計画の期間

計画の期間は平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間で、実施すべき基本目標を設定するとともに、その目標を達成するために必要な施策を示したものです。

また平成 31 年度において、スポーツ環境の変化や計画の進捗具合などを考察し、状況に応じて中間見直しを行います。



第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

スポーツは、心身の健全な発達と体力の保持増進、精神的な充実感の獲得等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、極めて重要なものです。

また、スポーツの特性として、規範意識やフェアプレーの精神を培うとともに、人間形成に大きな影響を与える等心身の両面にわたり大きく貢献することがあげられます。このため、年齢、性別や障害の有無にかかわらず全ての市民は、スポーツが有する意義等について理解を深めスポーツに接することが大切です。

昭和 63 年（1988 年）の健康都市宣言以来、碧南市は健康づくりやスポーツの環境整備に取り組んできています。これをもとに、基本理念として次の２つを揚げます。

基本理念

（１）活力ある碧南市を維持・発展していくために、市民が主体的、継続的にスポーツに親しみ意識的な健康づくりに取り組む姿勢を養います。

（２）市民の一人ひとりが、自ら生涯にわたって自分に適したスポーツを見いだし、日常生活の中で実践できるスポーツ環境を整備していきます。

２　計画の目指す姿と基本方針

スポーツは、「体を動かす」という人間の本能的な欲求に応えるとともに、心理的・精神的充実感を与えます。また、市内外の人たちとの交流やコミュニケーションの促進による人と人との結びつきが地域に対する誇りや一体感を形成するなどの社会的効果をもたらします。

さらには、体力の向上及びストレスの解消、生活習慣病の予防など心身両面にわたる健康の保持増進を推進するものです。

少子高齢化社会の進展や、生活スタイルの変化により、体を動かす機会が減少する中、市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しみ、そして支えることにより、「スポーツで　元気をつくる　健康都市　へきなん」を築いていきます。

【 目指す姿 】

スポーツで　元気をつくる　健康都市　へきなん

～ 目指そう週一回 スポーツ実施率60％ ～

【基本方針】

目指す姿の実現に向けて、いつでも誰でも気軽に各自の興味・関心、年齢、体力、技術に応じて継続的にスポーツに親しむことができるように５つの基本方針の「元気ッス！運動」を推進します。

（１）「す　る」元気ッス！

スポーツをすることで、からだを元気にしましょう。

（２）「観　る」元気ッス！

スポーツを観ることで、心を元気にしましょう。

（３）「学　ぶ」元気ッス！

スポーツの基礎を学んで、頭脳を元気にしましょう。

（４）「極める」元気ッス！

スポーツの技術や指導方法を極めて、みんなで元気になりましょう。

（５）「支える」元気ッス！（ものを支える、ひとで支える）

スポーツをする環境を整え、地域で支えて元気になりましょう。

3　施策の体系

目指す姿

スポーツで　元気をつくる　健康都市　へきなん

～目指そう週一回 スポーツ実施率６０％～

基本方針	施策の方向
（1）「す る」元気ッス！ ～スポーツをすることで、からだを元気にしましょう。～	①　スポーツをする機会の創出 ②　スポーツイベントや大会の開催によるスポーツ人口の拡大 ③　スポーツや健康の情報提供による市民の意識改革
（2）「観 る」元気ッス！ ～スポーツを観ることで、心を元気にしましょう。～	①　スポーツ観戦による精神的高揚と技術的向上 ②　スポーツ観戦への参加促進 ③　家族でスポーツを観る機会の創出
（3）「学 ぶ」元気ッス！ ～スポーツの基礎を学んで、頭脳を元気にしましょう。～	①　健康づくり講座やスポーツ教室の開催による健康運動の推進 ②　指導者の資質向上をめざした講習会・研修会の開催 ③　スポーツ推進委員の充足と活動機会の増加
（4）「極める」元気ッス！ ～スポーツの技術や指導方法を極めて、みんなで元気になりましょう。～	①　市独自のスポーツ選手の育成と支援 ②　市独自のスポーツ指導者の育成と支援 ③　スポーツ表彰制度の拡充 ④　全国大会等への出場に対する奨励金制度の充実
（5）「支える」元気ッス！ ～スポーツの環境を整え、地域で支えて元気になりましょう。～	もので支える ①　日常的な健康づくりやスポーツ活動のための身近な施設の整備 ②　スポーツ施設の効果的な整備の促進 ③　安全安心にスポーツが行える環境の整備 ④　公共スポーツ施設や学校体育施設の効率的活用 ⑤　企業スポーツ施設や商業スポーツ施設の活用 ひとで支える ⑥　既存スポーツ・レクリエーション団体の充実と自主活動の促進 ⑦　総合型地域スポーツクラブの育成と周知 ⑧　障害者・高齢者のスポーツ機会の創出 ⑨　スポーツ交流の推進

第3章 施策の展開「元気ッス！運動の推進」

1 「す る」元気ッス！

～スポーツをすることで、からだを元気にしましょう。～

【前計画の数値目標の評価】　※前計画：碧南市スポーツ振興計画［中間見直し］

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">週１回以上スポーツを行っている市民の割合
（アンケート調査において「週に１回以上スポーツを行っている」と答えた人の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>31.8%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価・考察</td><td rowspan="3">前計画の策定当初の数値は 27.0%であり、中間見直し時で 4.8 ポイントの増加、最新数値で 8.8 ポイントの増加となりました。目標値の 50.0%を達成できませんでしたが、施策の実現に努めることとし目標値を上げて継続していきます。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>35.8%
（平成 26 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>50.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">社会体育施設利用者数</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>722,045 人
（平成 21 年度）</td><td rowspan="3">評価・考察</td><td rowspan="3">平成 23 年度に施設予約システムの更新をしたことによる影響で、それ以降大幅に数値が下がりました。この理由により、目標値の 900,000 人を達成できませんでした。目標値を見直して継続していきます。
（平成 22 年度）710,148 人
（平成 23 年度）458,552 人
（平成 24 年度）447,089 人</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>463,466 人
（平成 25 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>900,000 人
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

【現状と課題】

○　初心者やスポーツに親しんでいない人が手軽に参加できる教室を開催するよう心がけており、平成 25 年度は、【昼間】延べ 10 種目（前期６種目・後期４種目）、【夜間】

延べ 13 種目（前期７種目・後期６種目）、【子供】延べ 24 種目（前期 12 種目・後期 11 種目）を開催しました。この他にも、一部市の委託も含めたスポーツ教室をへきなん南部総合型スポーツクラブも実施しています。

平成 25 年度からは「NOSS（にほんおどりスポーツサイエンス）」を新しく開講するなど、より多くの市民に参加してもらえるよう努めています。一方では、申込みが最低開講人数に達せずに実施できないスポーツ教室もあることから、常に情報収集することを心がけ、ニーズにあったスポーツ教室を開催できるように、南部総合型スポーツクラブと協力し合いながら、市民がスポーツしやすい環境づくりに努める必要があります。

○　ニュースポーツなどの用具の貸し出し状況については、平成 25 年度は、30 種類、延べ 124 回の貸し出しをしました。回数の多い用具につきましては、ペタボード 20 回、輪投げ９＆Q11 回、ラダーゲッター11 回となっております。さらに多く貸し出しがされるよう情報発信に努める必要があります。

○　平成 26 年８月のアンケート結果では、週１回以上スポーツや運動をしている市民の割合は、35.8%となっており、平成 16 年に実施のアンケート結果 27.0%と比較すると8.8ポイント上昇しています。また、平成22年に実施のアンケート結果31.8%と比較しても 4.0 ポイント上昇しています。しかしながら、徐々に週１回以上スポーツや運動をしている市民の割合は増加しているものの、スポーツ振興計画で目指した目標値 50%は達成できていません。

また、「スポーツは好きですか」という問いに対しては、「好きである」と回答した市民は 27.5%であり、「どちらといえば好きである」と回答した市民 30.5%と合わせると 58.0%となり、この数値の年齢別では、20 歳代が 68.4%であるのに対して年齢が高くなるほど数値が下がり、60 歳以上では 53.3%となりました。このことから、スポーツや運動ができる環境が整えば、まだまだ週１回以上の実施率は上がるものと伺えます。

○　同アンケート結果では、「これからスポーツをする時に問題になると思うことは何ですか」という問いに対して、「スポーツをする時間的余裕がない」41.1%、「一緒に活動する仲間がいない」24.7%、「健康・体力面に不安がある」24.0%、「スポーツをする施設・場所がない」23.7%、「スポーツをしたいが実行する意欲がない」23.0%などが上位を占めています。こういった問題点を解決していくことが実施率向上につながると考えられます。

また、「用具・道具の購入や施設使用料が高い」と答えた市民の割合は 14.1%となっており、用具や道具の購入がスポーツを始める際の問題の一つになっていることが伺えます。

その他にも、「市の公共スポーツ施設に望むことは何ですか」という問いに対しては、「スポーツ教室の充実」が 20.4%となっており、スポーツ人口の増加に効果があるものと考察できます。さらに、「今後、スポーツ振興施策で市が力をいれていくべき事項は何だと思いますか」という問いに対しては、「各種スポーツ行事・大会・教室の充実」

が 24.9%と多く、これも「する」元気ッス！の推進のためには重要であると考えられます。

同じ問いで、「年齢層にあったスポーツの普及」が 43.8%と最も高く、生涯スポーツの推進の重要性が伺えます。

【施策の方向】

現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

（１）スポーツをする機会の創出

（２）スポーツイベントや大会の開催によるスポーツ人口の拡大

（３）スポーツや健康の情報提供による市民の意識改革

【主な取り組み】

施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取り組みを示します。

（１）スポーツをする機会の創出

スポーツ活動が日常化するように、参加しやすいスポーツ教室の開催に努め、また、スポーツをしやすい環境を整備します。スポーツ推進委員による出張指導も活用し市民がスポーツをよりしやすい機会をつくります。また、チャレンジデーや市独自の市民参加型イベントなどを有効に活用し、スポーツを始めるきっかけづくりにも努めます。

No.	主な取り組み
①	ニーズの多い種目を調査研究し、それに応じたスポーツ教室を開催していきます。
②	ニュースポーツなどの用具を無料で貸し出し、市民がスポーツをしやすい環境をつくります。
③	スポーツ推進委員による出張指導（出前教室方式）も有効に活用し、市民がスポーツをよりしやすい機会をつくります。
④	平成 23 年度から参加しているチャレンジデーやそれを発展させた市独自の市民参加型イベントなどを有効に活用し、スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう展開していきます。

（２）スポーツイベントや大会の開催によるスポーツ人口の拡大

スポーツ人口の拡大を図るため、スポーツイベントや大会を開催するとともに、参加しやすいイベントの内容に努め、スポーツを始めるきっかけづくりを提供します。

No.	主な取り組み
①	各スポーツ関係団体等と連携して、各種のスポーツイベントや大会を開催します。

②	ウォーキングなど初めてでも気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。
③	市民に対してスポーツイベントや大会等の周知を図るとともに、内容の充実に努め、普段スポーツをしていない市民の参加を促します。

（３）スポーツや健康の情報提供による市民の意識改革

健康な心身づくりのための定期的なスポーツ実施の必要性について周知を図り、市民のスポーツ実施率の向上につなげます。

No.	主な取り組み
①	日頃、スポーツや運動をしてない市民に対して、健康増進のためにスポーツや運動が大切であることを情報発信して興味を持ってもらいます。広報やホームページをはじめ、SNS（Twitter、facebook 等）なども活用した効果的な情報発信に努めます。
②	初心者向けのスポーツ教室の開催や自宅で簡単に出来る運動方法などを情報発信して、誰でもどこでも出来ることを知ってもらいます。

２ 「観 る」元気ッス！

～スポーツを観ることで、心を元気にしましょう。～

【現状と課題】

○　平成 26 年８月のアンケート結果では、「スポーツは好きですか」という問いに対して、「好きである」と回答した市民は 27.5%であり、「どちらといえば好きである」と回答した市民 30.5%と合わせると 58.0%となり、６割近くの市民がスポーツに興味があるといえます。

　また、「スポーツに関するイベントを実施する際に行ってほしい内容は何かありますか」という問いに対しては、「親子・家族のスポーツ」が 25.3%となっており、親子・家族でのスポーツ参加に関心があるといえます。

○　平成 22 年 11 月のアンケート結果では、「スポーツを観ることは好きですか」という問いに対して、「好きである」と回答した市民は 44.7%であり、「やや好きである」と回答した市民 27.9%と合わせると 72.6%となり、７割以上の市民がスポーツ観戦が好きであると回答しています。

【施策の方向】

現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

（１）スポーツ観戦による精神的高揚と技術的向上

（２）スポーツ観戦への参加促進

（３）家族でスポーツを観る機会の創出

【主な取り組み】

施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取り組みを示します。

（１）スポーツ観戦による精神的高揚と技術的向上

　精神的高揚と技術的向上のため全国大会などのハイレベルなスポーツを観戦できる機会の増加に努めます。

No.	主な取り組み
①	施設規模や費用等を踏まえつつ、各種スポーツ団体等との連携・協働により、全国大会などのより高い技術のスポーツを観戦できる機会の増加に努めます。
②	企業クラブチームによる試合・練習などを観戦できる機会を捉え、市民が観戦できる機会の増加に努めます。

（２）スポーツ観戦への参加促進

スポーツを観戦できる機会の情報収集に努め、広く市民に情報発信をします。

No.	主な取り組み
①	広報・ホームページ・SNS（Twitter、facebook　等）など多様な媒体を活用し、スポーツ観戦への市民の参加を促します。

（３）家族でスポーツを観る機会の創出

家族での参加を促すため、親子でスポーツ観戦できる機会を提供し、また、家族を応援できる環境づくりにも努めます。

No.	主な取り組み
①	大会や試合の観戦において、親子など家族で観戦できる機会を提供します。
②	家族の一員が参加する試合や練習において、応援席を設けるなどして家族が応援しやすい環境づくりに努めます。

3 「学 ぶ」元気ッス！

～スポーツの基礎を学んで、頭脳を元気にしましょう。～

【前計画の数値目標の評価】　※前計画：碧南市スポーツ振興計画［中間見直し］

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">体育指導委員の認知度　※現在のスポーツ推進委員
（アンケート調査において体育指導委員を「知っている」と答えた人の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>29.1%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">アンケートにおいて、この指標を調査していないため、最新の数値は無く評価ができませんでした。名称変更があり、基準となる数値もないため、この項目は継続しません。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>―</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>35.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">スポーツ活動の際に指導してくれる人がいる市民の割合
（アンケート調査において「スポーツ活動する際に指導してくれる人がいる」と答えた人の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>18.4%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">基準値より 0.6 ポイントの減少となりました。目標値の 25.0%を達成できませんでした。目標値を据え置いて継続していきます。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>17.8%
（平成 26 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>25.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

【現状と課題】

○　平成 26 年度は、一般市民を対象にした地域スポーツ指導者講習会「ストレッチング講習会」を開催し 37 名の参加がありました。平成 25 年度は、「体幹トレーニング講習会」を開催し 32 名の参加がありました。平成 24 年度は「スポーツマッサージ講習会」を開催し 37 名の参加がありました。指導者育成のため参加者の増加に努めるとともに、複数の科目を学べる体制を整え、より高い資質を持った指導者の育成に努める必要があります。

○　旧体育指導委員であるスポーツ推進委員は、コーディネーターとして今まで以上に高い資質が求められており、平成 25 年度の研修会として愛知県スポーツ推進委員研修会に 19 名、スポーツ推進委員愛知大会に 17 名、東海四県スポーツ推進委員実技研修会に９名参加しました。更なる資質向上のため研修を展開していきます。

○　平成 26 年８月のアンケート結果では、「あなたは意識的に健康づくりをしています

か」という問いに対しては、「している」と回答した市民は 20.1％であり、「少ししている」と回答した市民 49.2％と合わせると 69.3％となり、７割近くの市民が健康を意識して何か行動をしていることが伺えます。

また、「スポーツに関するイベントを実施する際に行ってほしい内容は何かありますか」という問いに対して「健康づくりが中心の講座」が 54.5％と第１位となっており、健康に大きく関心があることが分かりました。その他にも、「市の公共スポーツ施設に望むことは何ですか」という問いに対しては、「健康やスポーツに関する情報の充実」が 18.0％でありました。

○　同アンケート結果では、「スポーツを指導してくれる人はいますか」という問いに対して、「いない」が 65.7％もあり、多くの市民が指導者なしでスポーツをしている実態が明らかになりました。

また、「これからスポーツをする時に問題になると思うことは何ですか」という問いに対して、「自分のレベルにあった指導が受けられない」が 15.0％あり、自分のレベルにあった指導を受けたいと思っている市民がいることが分かりました。

その他にも、「市の公共スポーツ施設に望むことは何ですか」という問いに対しては、「指導者の配置」が 12.6％となっており、指導者の必要性が伺えます。

【施策の方向】

現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

（１）健康づくり講座やスポーツ教室の開催による健康運動の推進

（２）指導者の資質向上をめざした講習会・研修会の開催

（３）スポーツ推進委員の充足と活動機会の増加

【主な取り組み】

施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取り組みを示します。

（１）健康づくり講座やスポーツ教室の開催による健康運動の推進

各種の健康講座や運動講座の機会を市民に提供したり、様々なスポーツ教室を展開するなどして、参加促進に努めます。

No.	主な取り組み
①	健康担当部署で実施される各種の健康講座や運動講座なども活用しながら、その時々にあった講座内容を展開することにより、運動と健康に関する知識を学んでもらいます。
②	多様なスポーツ教室を開催し、より自分にあったスポーツや運動方法などを学んでもらいます。

（２）指導者の資質向上をめざした講習会・研修会の開催

体育協会の各競技団体やスポーツ少年団、レクリエーション協会をはじめ各種競技指導者の資質向上をめざし、その時々にあった講習会や研修会を実施します。

No.	主な取り組み
①	各団体等で実施する指導者講習会を支援し、参加を促します。
②	スポーツ医科学など、指導者が身につけるさまざまな技術の修得をめざし、講習会や研修会を受けられる機会の創出に努めます。
③	安全にスポーツが実施されるよう、技術指導ばかりでなく、熱中症対策やAEDの使用方法をはじめ、様々なテーマの講習や研修を受けられる機会の創出に努めます。
④	講習会や研修会を受講できる機会を逸しないように、広く指導者へ周知するように努めます。

（３）スポーツ推進委員の充足と活動機会の増加

市民がスポーツの基礎を学んだり、スポーツをする際に、より的確な指導が受けられるよう、指導者の技術や資質、指導方法の向上に努めます。

No.	主な取り組み
①	市民がニュースポーツなどをする際、より的確な指導・助言が受けられるように、スポーツ推進委員への計画的な研修を実施し育成を図ります。
②	スポーツ推進委員は多様な指導要請に応えられるよう、幅広い年齢層で構成されていますが、少子高齢化による若手人材不足に対処できるよう協力します。
③	広報・ホームページ・SNS（Twitter、facebook 等）やイベントなどを活用し、スポーツ推進委員の役割・活動などについて広く情報発信していきます。

4 「極める」元気ッス！

～スポーツの技術や指導方法を極めて、
みんなで元気になりましょう。～

【前計画の数値目標の評価】　※前計画：碧南市スポーツ振興計画［中間見直し］

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">オリンピック・世界選手権、国体・高校総合、全国大会、東海地区大会への出場者数・出場団体</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>47 人
18 団体
（平成 21 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">基準値より出場者数は 14 人減り、出場団体は 1 団体減りました。出場者数・出場団体ともに目標値を達成できませんでした。年度により人数のばらつきが生じますが、目標値を据え置いて継続していきます。
（平成 22 年度）38 人・13 団体
（平成 23 年度）31 人・16 団体
（平成 24 年度）28 人・18 団体</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>33 人
17 団体
（平成 25 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>60 人
23 団体
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

【現状と課題】

○　体育協会との連携のもと、スポーツ選手の強化に努めています。しかしながら、団体ごとに強化事業に対する取り組みが異なるため、その特性に応じた支援を実施し、競技技術を高められるようにする必要があります。

○　競技スポーツという観点では、野球やサッカーなどは各地域ごとにスポーツ少年団として活動がされており、その基盤のもと中学校でも部活動として成り立っていますが、特に中学校の部活動において、その他の種目は人数的にも指導者的にも成り立っていないものも多く、近隣市との試合においても技術の差が顕著になっています。

○　当市は地理上の特性で海に面しており、市内にある２つの高等学校では部活動でセーリング競技が盛んに行われています。

○　平成 26 年８月のアンケート結果では、「これからスポーツをする時に問題になると思うことは何ですか」という問いに対して、「自分の持っている技術に自信がない」と答えた人は 8.1％となっています。

○　2020 年には、東京でオリンピックの開催が予定されており、そこで活躍できる選手の育成が期待されています。

【施策の方向】

現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

（１）市独自のスポーツ選手の育成と支援

（２）市独自のスポーツ指導者の育成と支援

（３）スポーツ表彰制度の拡充

（４）全国大会等への出場に対する奨励金制度の充実

【主な取り組み】

施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取り組みを示します。

（１）市独自のスポーツ選手の育成と支援

市独自のスポーツ選手強化のための育成・支援を実施します。スポーツ種目によっては総合型地域スポーツクラブの活用を目指します。地域スポーツとして子どもたちが常時活動できる環境づくりに努めます。新たな選手層の新規獲得のため女子の参加しやすい環境づくりを図ります。また、2020 年には東京でのオリンピック開催が予定されており、そこで活躍できる選手の支援にも努めます。

No.	主な取り組み
①	市独自のスポーツ選手強化事業を展開し、各団体におけるスポーツ技術の向上を支援します。
②	小・中学校において指導が困難なスポーツ種目などは、総合型地域スポーツクラブの活用を目指します。
③	子どもたちが地域で常時スポーツ活動ができる環境づくりに努めます。
④	スポーツ機会における男女の格差を是正するため、女子の参加しやすいスポーツ環境づくりを図ります。
⑤	2020 年の東京オリンピックを意識したスポーツ選手への支援を実施し、選手自身の意識の高揚を目指します。

（２）市独自のスポーツ指導者の育成と支援

指導者養成の体制を強化するため、市独自の取り組みを整備し実施していきます。

No.	主な取り組み
①	市独自の指導者講習会を実施し、スポーツ指導者の資質向上を図ります。
②	全国的な指導者資格は時間的にも経費的にも多くの負担が受講者にかかるため、市独自の公認スポーツ指導者認定制度を整備し、年間5回の講習会を開催していきます。

③	指導者の育成について県や近隣市との連携を強化するとともに、共同で開催できるものについては指導者養成講座を開催します。

（３）スポーツ表彰制度の拡充

スポーツ表彰制度により、指導者の功績を顕彰し、その後の指導者の育成につなげます。

No.	主な取り組み
①	スポーツの指導に携わってきた方をスポーツ功労者として表彰を行います。
②	表彰制度の周知に努めるとともに、市内の潜在的な指導者発掘に寄与するよう、表彰を受けたスポーツ功労者を広報誌等で周知します。

（４）全国大会等への出場に対する奨励金制度の充実

全国大会等に出場した個人・団体への奨励金の支給や、スポーツで活躍した個人・団体を広く周知することにより、スポーツ活動のより一層の発展を支援します。

No.	主な取り組み
①	全国大会出場や県大会等で優秀な成績を残した個人・団体に奨励費を支給する奨励金制度を実施します。
②	スポーツで活躍した個人や団体について、広報誌等を活用して広く市民に周知します。

5 「支える」元気ッス！（もので支える、ひとで支える）

～スポーツの環境を整え、地域で支えて元気になりましょう。～

【前計画の数値目標の評価】　※前計画：碧南市スポーツ振興計画［中間見直し］

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">「へきなん南部総合型スポーツクラブ」を知っている市民の割合
（アンケート調査において「よく知っている」「少し知っている」と答えた人の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>14.1%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">基準値より 8.0 ポイントの増加となりました。目標値の 30.0%を達成できませんでした。目標値を据え置いて継続していきます。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>22.1%
（平成 26 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>30.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">臨海体育館施設利用率
（臨海体育館アリーナの利用可能枠に対する団体利用の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>77.0%
（平成 20 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">平成 23 年度に利用区分を分割したことにより、基準値より 20.0 ポイントの大幅な減少となりました。目標値の 88.0%を達成できませんでした。目標値を見直して継続していきます。
（平成 22 年度）　87.8%
（平成 23 年度）　79.5%
（平成 24 年度）　58.7%</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>57.0%
（平成 25 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>88.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">スポーツ施設改修整備率
（耐用年数の半分を過ぎたスポーツ施設に対する施設改修の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>25.0%
（平成 21 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">基準値より 25.0 ポイントの増加となりました。目標値の 46.0%を達成できました。目標値を上げて継続していきます。
（平成 22 年度）　33.0%
（平成 23 年度）　33.0%
（平成 24 年度）　37.5%</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>50.0%
（平成 25 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>46.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">スポーツ施設の満足度
（アンケート調査において「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合）</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>39.0%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">前回のスポーツに関するものだけのアンケートから市政アンケートの一部分による方法へ変更したことにより、基準値より 21.2 ポイントの大幅な減少となりました。この理由により目標値の 50.0%を大幅に達成できませんでした。目標値を見直して継続していきます。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>17.8%
（平成 26 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>50.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>項目</td><td colspan="3">スポーツ少年団等における、スポーツ交流事業への参加率</td></tr>
<tr><td>中間見直し時の基準値</td><td>18.9%
（平成 22 年度）</td><td rowspan="3">評価
・
考察</td><td rowspan="3">基準値より 7.1 ポイントの減少となりました。目標値の 25.0%を達成できませんでした。目標値を据え置いて継続していきます。</td></tr>
<tr><td>最新の数値</td><td>11.8%
（平成 25 年度）</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>25.0%
（平成 26 年度）</td></tr>
</table>

【現状と課題】

○　平成 26 年８月のアンケート結果では、「あなたは普段どこでスポーツをしていますか」という問いに対して、「自宅近所の道路や空き地」32.1%、「自宅」24.2%、「市内公共施設」20.0%、「公園や広場」16.6%、「市外民間施設」11.1%となっています。

　また、「これからスポーツをする時に問題になると思うことは何ですか」という問いに対して、「一緒に活動する仲間がいない」が 24.7%で第２位、「スポーツをする施設・場所がない」が 23.7%で第４位でした。

　さらに、「市の公共スポーツ施設に望むことは何ですか」という問いに対しては、「施設数の増加」が 26.4%と「特にない」35.4%に次いで多い回答となっており、施設環境の整備が期待されています。具体的な整備してほしいスポーツ施設では、「ジョギング・ウォーキングコース」が 41.2%で第１位、「温水プール」が 31.6%で第２位、「多目的グラウンド」が 21.5%で第３位、「体育館」が 20.2%で第４位、「サイクリングロード」が 18.6%で第５位となっています。

　その他にも、「利用時間帯の拡大」が 19.1%となっており、平成 23 年 10 月に利用時間帯の見直しを実施して入替時間を廃止することにより利用時間帯を拡大しまし

たが、更なる拡大も望まれています。

○　総合型地域スポーツクラブとして平成 22 年に創立された「へきなん南部総合型スポーツクラブ」は、今回のアンケート結果では、「よく知っている」が 5.2%、「少し知っている」が 16.9%と、合わせて 22.1%が知っているという結果でした。平成 22 年に実施したアンケート結果 14.1%と比較すると 8 ポイント上昇しています。知らないと答えた人は 72.2%で、平成 22 年に実施のアンケート結果 83.6%と比較すると 11.4 ポイント減少しており、徐々に認知されてきています。

○　学校体育施設開放については、現在、市内の小・中・高等学校において平日の 19 時からと休業日に実施しており、登録数は平成 25 年度で 110 団体・4,300 人となっており、利用状態がほぼ飽和状態であるため、より効率的で公平な運用を続けることが困難になりつつあり課題となっています。

○　平成26年8月のアンケート結果では、「市の公共スポーツ施設に満足していますか」という問いに対して、「満足」5.0%、「どちらかといえば満足」12.8%となっており、その合計は 17.8%となり、前回のアンケートから 21.2 ポイントの大幅な減となっています。今後、満足度の回復に向け努める必要があります。

【施策の方向】

現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

－ もので支える －

（1）日常的な健康づくりやスポーツ活動のための身近な施設の整備

（2）スポーツ施設の効果的な整備の促進

（3）安全安心にスポーツが行える環境の整備

（4）公共スポーツ施設や学校体育施設の効率的活用

（5）企業スポーツ施設や商業スポーツ施設の活用

－ ひとで支える －

（6）既存スポーツ・レクリエーション団体の充実と自主活動の促進

（7）総合型地域スポーツクラブの育成と周知

（8）障害者・高齢者のスポーツ機会の創出

（9）スポーツ交流の推進

【主な取り組み】

施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取り組みを示します。

－ もので支える －

（1）日常的な健康づくりやスポーツ活動のための身近な施設の整備

既存の体育施設だけでなく、学校体育施設、公民館、公園等を利用した身近なスポーツ環境の

整備を促進します。

No.	主な取り組み
①	老朽化したスポーツ施設について、経過年数と耐用年数などを考慮し、計画的に修繕を進めます。予算の調整を図る中で、施設の状況により建て替えの検討も視野に入れます。
②	施設の改修時には、障害の有無等に関わりなくスポーツ施設を利用できるようバリアフリー化や、更には男女・年齢等も問わないユニバーサルデザイン化も検討して進めます。
③	ニュースポーツの用具の無料貸し出しなどを通じ、公民館等で手軽に行うスポーツ活動を支援します。
④	学校施設（体育館、グラウンド等）を市民のスポーツ活動の場として開放します。登録団体数の増加により施設が飽和状態であるため、その解決に向け調査・研究します。
⑤	施設・設備については安全点検を実施し、スポーツ施設内における不調箇所の補修を徹底します。
⑥	市民から要望の多いウォーキングやジョギングコースの整備については、手軽に安全にウォーキングができるよう調査・研究を進めます。その際、鉄道の廃線跡地や暗渠化された用水路、市内に多く存在する公園等の活用も視野に入れて、関係部署と連携を図りながら検討を進めます。

（２）スポーツ施設の効果的な整備の促進

スポーツ施設の整備にあたっては、利用者の満足度の向上に努め、更に利用者の利便性や安全性を考慮して進めます。また、建設から 30 年が経過した臨海体育館は引き続き計画的な修繕を進めるとともに建て替えの調査・研究を進めていきます。また、サッカー場と陸上競技場についても調査・研究を進めます。

No.	主な取り組み
①	スポーツ施設の整備にあたっては、利用者の満足度の向上に努め、更に利便性や安全性を考慮して進めていきます。
②	老朽化している臨海体育館について、引き続き計画的な修繕を進めるとともに、建て替えについても調査・研究を進めていきます。
③	サッカー場と陸上競技場について、建設場所や費用面などあらゆる観点から調査・研究を進めていきます。

（３）安全安心にスポーツが行える環境の整備

安全安心にスポーツができるように、様々な観点から環境づくりを促進します。

No.	主な取り組み
①	スポーツ施設へAEDを適切に配置していきます。設置が難しい施設においてはAEDの貸し出しを行います。いざという時、適切に使用できるよう講習会を開催します。
②	屋外施設において、落雷等の急な天候の変化に対応できる施設整備について、調査・研究するとともに、指導者が適切な対応を取れるように講習会を開催します。
③	スポーツ指導者が気象の変化や地震・津波などの災害情報をいち早く察知し、素早く避難などの対応ができるように、防災メールの登録・活用を促します。
④	スポーツ活動のきっかけでもあるウォーキングやジョギングを安全かつ安心して始められるように、交通面や防犯面で安全安心な場所の確保などの調査・研究に努めます。
⑤	屋外施設などでスポーツや運動をするための着替えを要する場合、特に女性の場合においては、安心して着替えができる場所の確保に努めます。
⑥	小さな子どもを持つ母親が安心してスポーツができるように、託児付きのスポーツイベントやスポーツ教室が展開できるような環境づくりを促進します。

（４）公共スポーツ施設や学校体育施設の効率的活用

市民が公平かつ優先的に施設を利用できるように、既存の公共施設予約システムを有効に活用します。また、施設の維持管理を踏まえ、適正な施設使用料を設定します。

No.	主な取り組み
①	公共施設予約システムを有効に活用し、市民が公平かつ優先的に予約ができるよう努めます。
②	施設の維持管理を踏まえ、かつ受益者負担も考慮する中で、適正な施設使用料を設定します。
③	学校体育施設において現行の開放時間内での施設の有効活用を促進するとともに、市民ニーズに応じて利用時間を検討します。ただし、登録団体数の増加により利用時間の調整が困難になっているため、その点も考慮して検討を進めます。

（５）企業スポーツ施設や商業スポーツ施設の活用

企業及び商業スポーツ施設について、連携を図りながら活用を進めます。

No.	主な取り組み
①	企業と連携を図りながら、市民のスポーツ活動の場として企業スポーツ施設を活用できるよう協力を要請していきます。
②	受益者負担を考慮に入れながら、市民のスポーツ活動の場として商業スポーツ施設を活用できるよう協力を要請していきます。

― ひとで支える ―

（６）既存スポーツ・レクリエーション団体の充実と自主活動の促進

市内で活動する体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会などのスポーツ・レクリエーション団体の指導者の資質向上に努め、自主的な活動を支援します。

No.	主な取り組み
①	スポーツ・レクリエーション団体の指導者の資質向上のため指導者講習会を実施するとともに、魅力ある内容で参加者の増加を図ります。
②	市内で活動するスポーツ・レクリエーション団体に対し、各団体における役割分担の明確化や連携の強化を図るとともに、自主的な活動を支援していきます。

（７）総合型地域スポーツクラブの育成と周知

総合型地域スポーツクラブの運営について、広く市民に周知して、会員数の増加とクラブの安定的運営を支援します。

No.	主な取り組み
①	現在の総合型地域スポーツクラブについては、早期に安定的で自立した運営が可能となるよう各種支援を行います。
②	今後、新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、地域の状況等に応じた支援を行います。
③	総合型地域スポーツクラブにおいて開催する多様なスポーツ教室の活動を支援し、スポーツをする機会の充実を図ります。
④	総合型地域スポーツクラブの活動の趣旨や取り組み内容を広く市民に周知して、活動への参加を促し、スポーツ人口の増加を図ります。

（８）障害者・高齢者のスポーツ機会の創出

障害者・高齢者の機能回復や健康増進を図るため、指導者の育成及び各種スポーツ団体や市外自治体との連携も視野に入れ、スポーツ活動への参加が容易な環境づくりを進めます。

No.	主な取り組み
①	障害者が参加できるスポーツの機会増加に努めます。その方策として、各種スポーツ団体や総合型地域スポーツクラブなどによる支援体制づくりに努めます。
②	障害者が参加できるスポーツ大会等は、近隣市などと情報交換を行い、広域圏での共同実施を視野に入れ調査・研究を行います。
③	高齢化社会の中でより多くの人が健康で元気にいられるよう、指導者の育成をはじめとしたスポーツ活動を通して支援していきます。
④	高齢者など交通弱者が参加しやすいように公民館等の身近な場所で気軽にスポーツができる環境づくりに努めます。

（９）スポーツ交流の推進

市内地域間でのスポーツ交流はもとより、市外や海外のスポーツ団体等との交流による多面的な成長を期待し、その交流を支援します。

No.	主な取り組み
①	各活動団体における、市内及び市外のスポーツ団体との定期的な交流を支援します。
②	各活動団体における、スポーツを通じた海外との交流について支援します。

第４章　計画の推進にあたって

１　数値目標

１　碧南市第５次総合計画における数値目標

碧南市第５次総合計画における「スポーツ振興」に関する目標値は次のとおりです。

項　　目	基準値	現状値	目標値
週１回以上スポーツを行っている市民の割合 （市民スポーツ意向調査において「週１回以上スポーツを行っている」と答えた人の割合）	27.0% （平成 16 年度）	35.8% （平成 26 年度）	50.0% （平成27年度）
臨海体育館施設利用率 （臨海体育館アリーナの利用可能枠に対する団体利用の割合）	77.0% （平成 20 年度）	57.0% （平成 25 年度）	90.0% （平成27年度）
スポーツ施設改修整備率 （耐用年数の半分を過ぎたスポーツ施設に対する施設改修の割合）	25.0% （平成 21 年度）	50.0% （平成 25 年度）	50.0% （平成27年度）

２　碧南市スポーツ推進計画でめざす数値目標

本計画でめざす目標値は次のとおりです。（★印は総合計画と同じ項目です。）

項　　目	現状値	目標値
１「する」元気ッス！		
★週１回以上スポーツを行っている市民の割合 （アンケート調査において「週１回以上スポーツを行っている」と答えた人の割合）	35.8% （平成 26 年度）	60.0% （平成 36 年度）
社会体育施設利用者数 ※平成 23 年度に公共施設管理システムを更新したことにより、数値が大きく減少した。施設改修により使用できないことも影響を受ける。	463,466人 （平成 25 年度）	700,000人 （平成 36 年度）

項　　目	現状値	目標値
3「学ぶ」元気ッス！		
スポーツ活動の際に指導してくれる人がいる市民の割合 （アンケート調査において「スポーツ活動する際に指導してくれる人がいる」と答えた人の割合）	17.8% （平成26年度）	25.0% （平成36年度）
4「極める」元気ッス！		
オリンピック・世界選手権、国体・高校総合、全国大会、東海地区大会への出場者数・出場団体	33 人 17 団体 （平成 25 年度）	60 人 23 団体 （平成 36 年度）
5「支える」元気ッス！		
「へきなん南部総合型スポーツクラブ」を知っている市民の割合 （アンケート調査において「よく知っている」「少し知っている」と答えた人の割合）	22.1% （平成 26 年度）	30.0% （平成 36 年度）
★臨海体育館施設利用率 （臨海体育館アリーナの利用可能枠に対する団体利用の割合） ※平成 23 年度に午後の利用区分を分割したことで数値が大きく減少した。	57.0% （平成 25 年度）	70.0% （平成 36 年度）
★スポーツ施設改修整備率 （耐用年数の半分を過ぎたスポーツ施設に対する施設改修の割合）	50.0% （平成 25 年度）	60.0% （平成 36 年度）
スポーツ施設の満足度 （アンケート調査において「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合） ※スポーツアンケートから市政アンケートに移行したことで数値が大きく減少した。	17.8% （平成 26 年度）	30.0% （平成 36 年度）
スポーツ少年団等における、スポーツ交流事業への参加率	11.8% （平成 25 年度）	25.0% （平成 36 年度）

２　推進体制と進捗管理

１　計画の推進体制

本計画は、スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、総合型地域スポーツクラブなどの市内でスポーツ推進に取り組む各種関係団体と連携を取りながら、市全体で推進します。

２　計画の進捗管理

本計画は、市役所の関係各課と連携を図りながら、進捗管理を行います。

定期的に市民アンケート調査を実施し、市民ニーズの把握と数値目標の進捗管理を行います。

また、随時、スポーツ推進審議会において事業の実施状況や効果等について評価や検証を行いながら、より効果的な事業の実施をめざします。

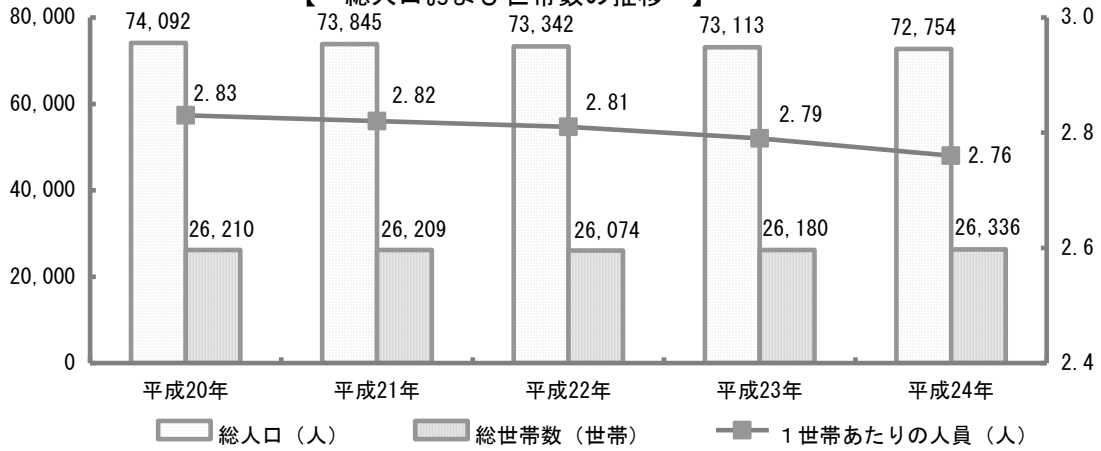
資　料　編

１　碧南市の人口・世帯の状況

（１）総人口および世帯数の推移

碧南市の総人口および世帯数の推移をみると、総人口、総世帯数ともに微減傾向となっています。また、１世帯あたりの人員は、年々減少しています。

【　総人口および世帯数の推移　】

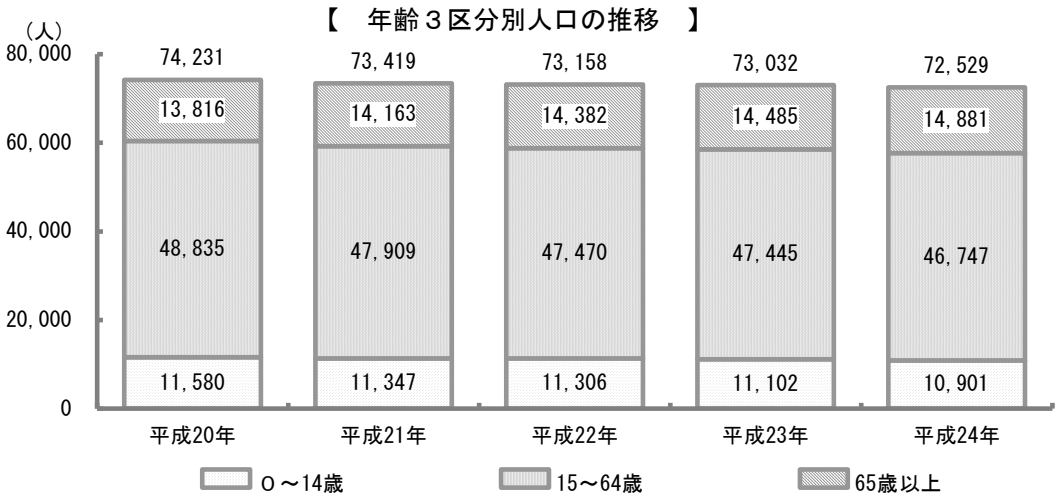


資料：住民基本台帳（各年３月 31 日現在　外国人人口を加味）

（２）年齢３区分別人口の推移

碧南市の年齢３区分別人口の推移をみると、総人口、0～14 歳、15～64 歳ともに微減しています。一方、65 歳以上をみると、人口は微増しています。

【　年齢３区分別人口の推移　】



資料：碧南の統計（各年９月 30 日現在）

２　碧南市のスポーツの状況

（１）スポーツ団体等の状況

①碧南市体育協会

【　種目別体育協会加盟数（平成 25 年度）　】

単位：人

アーチェリー	空手道	弓道	剣道	ゲートボール	サッカー	柔道
20	376	33	238	71	1,270	81
スキー	ソフトボール	卓球	テニス	トライアスロン	ソフトテニス	軟式野球
18	393	510	248	21	129	2,226
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	バドミントン	バレーボール	ヨット	陸上		
433	100	719	282	378		

資料：へきなんの教育（平成 25 年度）

②碧南市スポーツ少年団

【　種目別スポーツ少年団団員数の推移（平成 25 年度）　】

単位：人

種目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
空手道	231	273	249	256	265
卓球	37	31	24	27	18
サッカー	475	472	583	636	605
剣道	43	49	45	45	42
野球	341	341	314	295	277
新体操	103	105	89	93	84
ソフトテニス	25	33	28	33	31
陸上	26	35	30	20	45
合計	1,281	1,339	1,362	1,405	1,367

資料：スポーツ課（平成 25 年度）

③碧南市レクリエーション協会

【　レクリエーション協会会員数の推移（平成 25 年度）　】

単位：人

種目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
碧南囲碁クラブ	20	20	20	20	20
コーロ・フローラ	30	－	－	－	－
碧南レクリエーション指導者協議会	16	15	13	12	12
碧南市インディアカ協会	59	56	55	55	49
碧南市グラウンドゴルフ協会	229	235	256	259	274
ＮＰＯ法人アイディアＣ体創協会	173	162	118	143	159
碧南レクポン協議会	234	254	242	270	280
碧南スポーツ吹矢愛好会	－	－	29	43	39
Ｈｅｋｉｎａｎスラックラインクラブ	－	－	－	25	20

資料：スポーツ課（平成 25 年度）

（２）スポーツ施設の状況

【　社会体育施設利用状況（平成 25 年度）　】

単位：人

団体利用				個人利用	合計
施設名		件数	人数	人数	人数
臨海体育館	アリーナ	677	46,544	3,022	49,566
	第一体育室	757	36,854	1,508	38,362
	第二体育室	248	11,077		11,077
	トレーニング			20,437	20,437
勤労者体育センター	体育室	1,819	31,048		31,048
臨海公園グラウンド		232	20,024		20,024
羽久手グラウンド		872	26,626		26,626
玉津浦グラウンド		968	51,013		51,013
２号地グラウンド		112	3,420		3,420
港南グラウンド		247	11,620		11,620
碧公園グラウンド		187	5,405		5,405
沢渡公園グラウンド		588	11,283		11,283
水源公園グラウンド		445	10,517		10,517
道場山西公園グラウンド		374	7,391		7,391
２号地運動広場		135	7,409		7,409
臨海公園テニスコート		4,277	46,413		46,413
羽久手公園テニスコート		1,100	10,508		10,508
水源公園テニスコート		1,072	8,090		8,090
港湾スポーツセンター	テニスコート	1,909	17,473		17,473
	弓道場	57	1,274	2,625	3,899
	アーチェリー場	39	581	390	971
日進ゲートボール場		507	6,615		6,615
油ヶ淵地域運動広場		804	40,695		40,695
２号地多目的グラウンド		414	23,604		23,604
合計		17,840	435,484	27,982	463,466

資料：へきなんの教育（平成 25 年度）

【　学校体育施設の開放種目登録団体（平成 25 年度）　】

種目	バレーボール	卓球	バスケットボール	軟式野球	ソフトボール	バドミントン
団体数（団体）	17	５	16	９	７	６
登録者数（人）	290	179	284	352	166	93

種目	サッカー	インディアカ	体操	その他	合計
団体数（団体）	15	５	８	22	110
登録者数（人）	2,170	73	266	428	4,301

資料：へきなんの教育（平成 25 年度）

（３）スポーツ行事等の状況

【　スポーツ行事等の状況（平成 25 年度）　】

NO	行　事　名	参加人数	期　日	会　場
1	元気ッス！キッズ運動教室	791人	5月～3月 第1、3土曜日	大浜小学校他
2	第8回全国女子軟式野球選抜交流碧南大会	8ﾁｰﾑ	5月3･4日	臨海G・玉津浦G
3	春季市民囲碁大会	36人	5月26日	文化会館
4	チャレンジデー2013	36,558人	5月29日	市内各ｽﾎﾟｰﾂ施設他
5	第36回市民バドミントン選手権大会	84人	6月30日	臨海体育館
6	第9回らくらくソフトボール大会	12ﾁｰﾑ	7月～	玉津浦ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ
7	市民体力テスト	75人	6月30日	臨海体育館
8	新体操競技会	63人	7月7日	臨海体育館
9	第39回市長杯争奪家庭婦人バレーボール大会	8ﾁｰﾑ	7月14日	東部市民プラザ
10	第61回中日杯争奪西三河優勝卓球大会	742人	8月4日	臨海体育館
11	大型ヨット体験乗船	69人	8月4日	新川港
12	第20回碧南市秋季市民インディアカ大会	200人	8月4日	南部市民プラザ
13	愛知県ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ'13西三大会・卓球	28 ﾁｰﾑ	8月25日	臨海体育館
14	第65回秋季市民総合体育大会	17種目	9月～12月	臨海体育館等
15	障害者グラウンド・ゴルフ大会	19名	10月5日	臨海公園ドーム
16	秋季市民囲碁大会	34人	11月24日	文化会館
17	バスケットWリーグ（女子）	700人 (観客)	12月8日	臨海体育館
18	第48回へきなんマラソン	841人	12月15日	臨海公園周辺
19	第3回やろまいペタボード碧南大会	34ﾁｰﾑ	1月19日	臨海体育館
20	第53回市民スキー大会・スキー教室	30人･16人	1月25･26日	白樺高原国際ｽｷｰ場
21	新体操発表会	322名	2月1日	南部市民プラザ
22	第55回碧南市民卓球選手権大会	280人	2月2日	南部市民プラザ
23	第41回碧南市民駅伝大会	145ﾁｰﾑ	3月2日	市内一円
24	第11回ディスクドッヂ大会inへきなん	18ﾁｰﾑ	3月15日	臨海体育館

資料：へきなんの教育（平成 25 年度）